

ホームページ  
作成のための

# 視覚情報のユニバーサルデザイン ガイドブック



より多くの人に情報を正確に伝えるために  
見やすく利用しやすい情報発信の実現

令和5年1月

 静岡県

ホームページ作成のための  
視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック

## 目次

### 1 色覚の多様性への配慮（カラーユニバーサルデザイン）

色弱者の色の感じ方	1
＜色弱者（P型）の色の感じ方＞	2
高齢者の色の感じ方	3
＜白内障の方の見え方＞	4
～色の3要素「色相」・「明度」・「彩度」について～	4
高齢者・色弱者のどちらにも識別しやすい配色例	5
＜2色使いの例＞	5
＜4色使いの例＞	5

### 2 カラーユニバーサルデザインの実践例

色の工夫	6
色による配慮以外の工夫	7
●強調する	7
●ハッチング（地模様）を加える	7
●縁取りを加える	8
●色名を加える	8
●様々な工夫を組み合わせる	9

### 3 文字の大きさや形、レイアウトによる読みやすさの工夫

文字の大きさ	10
読みやすい行間値の設定	10
文字の形（フォント（書体））	10
強調表現	11
文章構成による配慮	11

参考1 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ver.4	12
--------------------------------	----

参考2 マンセル色相環での高齢者と色弱者の見え方の違い	14
-----------------------------	----

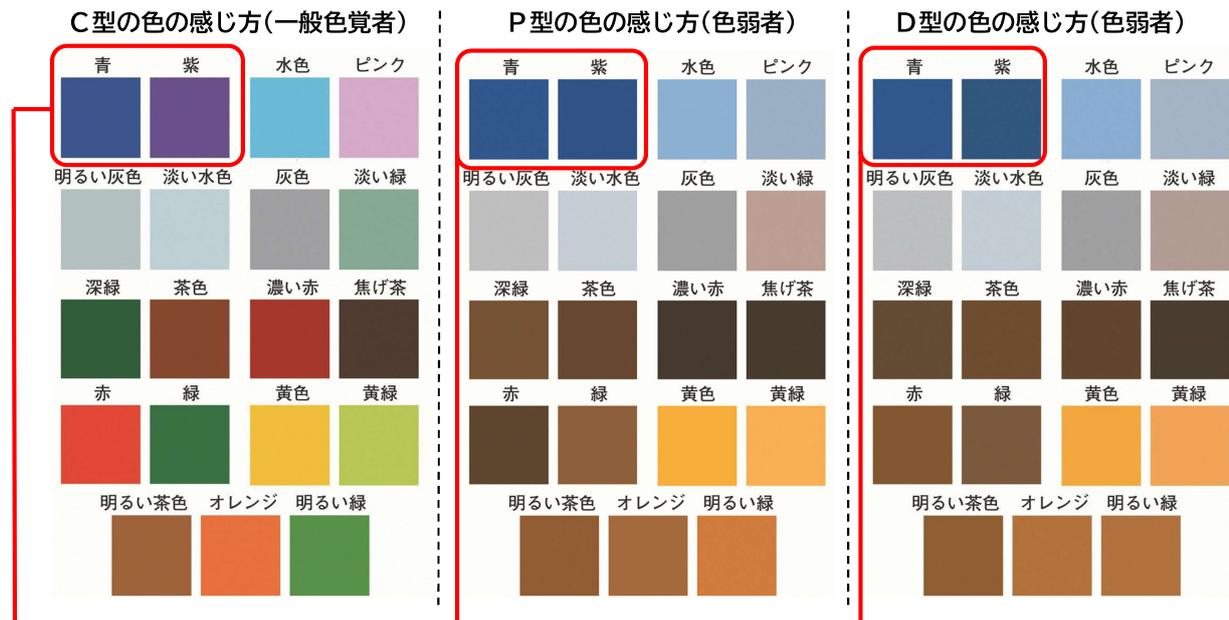
私たちは、色覚によって色を認識しますが、この色覚はいくつかのタイプに分けることができ、色の見え方は人によって異なります。代表的な例として、色弱によるものと、加齢によるものがあります。色弱者と白内障の方とでは見づらい色や見分けやすい色が異なりますので、色の使い方には注意が必要です。

多様な色覚に配慮して、より多くの人に情報が正確に伝わるよう、色の使い方や文字の形などに配慮することを「カラーユニバーサルデザイン」といいます。

## 色弱者の色の感じ方

C型、P型、D型のタイプ別に色の見え方を疑似変換(シミュレーション)してみました。各タイプの人には、それぞれの色が次の図のように区別されています。

※「C型」「P型」「D型」の呼称は、特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構が提唱するものです。詳しくは「視覚情報のためのユニバーサルデザインの指針」4ページを御覧ください。  
※このガイドブックの疑似変換(シミュレーション)画像は、色弱者の見え方に近い色を再現したものであり一例です。見え方、感じ方は人によって異なります。



### ポイント:色弱者にとって区別しづらい色の組合せに注意

- 色弱者の大半を占めるP型・D型の方にとって、区別しづらい色の組合せがある。(例) **紺と紫**、**深緑と茶色**、**赤と緑**
- そのほかに、
  - ・彩度の高い色(白や黒を含まない色)に比べて、彩度の低い色(白や黒を含む色): **水色とピンク**、**灰色とピンク**
  - ・明るさの差がない色: **黄色と黄緑** など

## < 色弱者 ( P 型 ) の色の感じ方 >

- P型(色弱者)は、濃い赤と黒は識別しづらい (強調している内容が伝わりにくい)

C型 (一般色覚者) の感じ方							P型 (色弱者) の感じ方						
3月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4	29	30	31	1	2	3	4

平日の黒文字と日曜・祝日(例では3月20日)の赤文字の違いが分かりづらい。

C型 (一般色覚者) の感じ方	P型 (色弱者) の感じ方
	

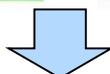
黒地に赤い色で注意を促す看板は、P型の人には黒と赤が似た色に見えるため、見づらい。

- 色弱者は、赤系と緑系、青系と紫系の明度の近い色が識別しづらい

C型 (一般色覚者) の感じ方	P型 (色弱者) の感じ方
	

絵の具に色が表示されていないと、「〇〇色の絵の具を使うように」と言われても、どれを選んで良いのか分からない。

●色だけで表示された情報は分かりにくい



地図や路線図など、色だけで表示されているものは、区別が付きにくいことがある。

### ポイント：色のみに頼った表現をしない

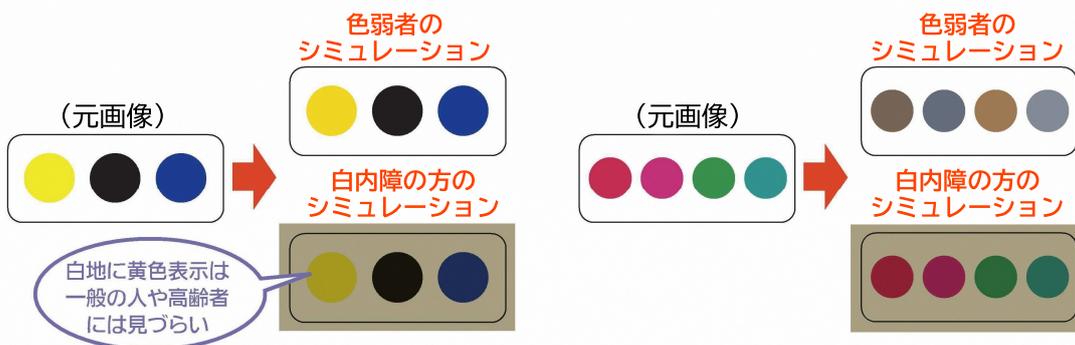
- 色のみに頼った表現は避け、文字情報や色名、ハッチング（地模様）を加える、線種や形を変えるなどの冗長性を加え、より多くの人に正しく理解できるように表現する。

【悪い例】 赤で表示した○○、赤いマークは、赤字部分は必須項目

### 高齢者の色の感じ方

緑内障、白内障など老化に伴う目の疾患による色の見え方は、色弱者とは異なります。色弱者に識別しやすくて、一般の人や高齢者には識別しづらい色があります。

#### 高齢者と色弱者の見え方例



## < 白内障の方の見え方 >

- 白と黄色、黒と紺色、青色と緑色などが識別しづらい
- 像がぼやけて見える



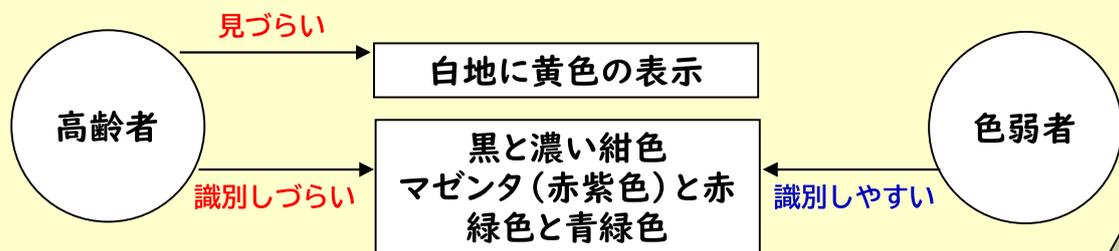
C型(一般)の見え方



白内障の見え方  
(シミュレーションした場合)

### ポイント: 高齢者と色弱者は識別しづらい色などが異なる

- 色弱者は明度差に敏感だが、高齢者(特に白内障の方)は明度が近い色は識別しづらいため、色に明度差をつけることが効果的。
- 高齢者(特に白内障の方)は像がぼやけて見えるため、小さな文字や細い文字、太すぎる文字は避ける。ただし、引き出し線などは太めにする。



### ～色の3要素「色相」・「明度」・「彩度」について～

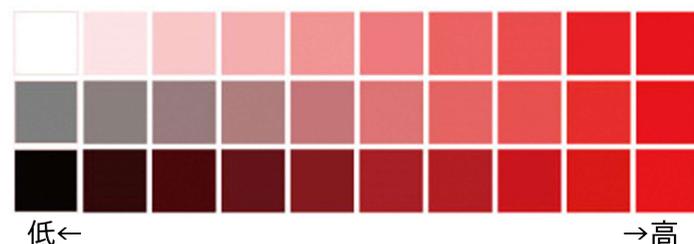
色相とは 「赤」「青」「黄」などの色合いのことです。



明度とは 明るさの度合いのことです。目に感じる光の強弱を示す量です。白に近づくほど明度が高くなり、黒に近づくほど低くなります。



彩度とは 鮮やかさの度合いのことです。原色のように白や黒を含まない色ほど、彩度が高くなります。



## 高齢者・色弱者のどちらにも識別しやすい配色例

### < 2色使いの例 >

C型(一般)の見え方				D型の見え方の例			
R: 250 G: 70 B: 0	R: 20 G: 105 B: 175	R: 25 G: 155 B: 65	R: 180 G: 80 B: 150	R: 240 G: 170 B: 20	R: 20 G: 105 B: 175	R: 170 G: 205 B: 30	R: 140 G: 130 B: 185
R: 250 G: 70 B: 0	R: 0 G: 160 B: 135	R: 20 G: 105 B: 175	R: 145 G: 195 B: 55	R: 230 G: 85 B: 0	R: 155 G: 190 B: 125	R: 230 G: 145 B: 0	R: 0 G: 150 B: 140
R: 250 G: 70 B: 0	R: 20 G: 105 B: 175	R: 25 G: 155 B: 65	R: 180 G: 80 B: 150	R: 240 G: 170 B: 20	R: 20 G: 105 B: 175	R: 170 G: 205 B: 30	R: 140 G: 130 B: 185
R: 250 G: 70 B: 0	R: 0 G: 160 B: 135	R: 20 G: 105 B: 175	R: 145 G: 195 B: 55	R: 230 G: 85 B: 0	R: 155 G: 190 B: 125	R: 230 G: 145 B: 0	R: 0 G: 150 B: 140

### < 4色使いの例 >

C型(一般)の見え方				D型の見え方の例			
R: 250 G: 70 B: 0	R: 20 G: 105 B: 175	R: 170 G: 205 B: 30	R: 185 G: 140 B: 190	R: 250 G: 70 B: 0	R: 20 G: 105 B: 175	R: 170 G: 205 B: 30	R: 185 G: 140 B: 190
R: 255 G: 155 B: 0	R: 130 G: 180 B: 230	R: 0 G: 135 B: 65	R: 145 G: 70 B: 150	R: 255 G: 155 B: 0	R: 130 G: 180 B: 230	R: 0 G: 135 B: 65	R: 145 G: 70 B: 150
R: 250 G: 70 B: 0	R: 0 G: 140 B: 210	R: 130 G: 180 B: 125	R: 190 G: 160 B: 200	R: 250 G: 70 B: 0	R: 0 G: 140 B: 210	R: 130 G: 180 B: 125	R: 190 G: 160 B: 200

高齢者・色弱者が  
識別しやすい色を  
交互に配し、明度差  
をつけるのが  
ポイント!

配色の参考資料:  
12~14 ページの  
「推奨配色セット」  
「マンセル色相環」  
も CHECK!

※色見本の枠内の記号・数字は、RGB値の近似値を表しています。

RGB: 赤(R)・緑(G)・青(B)の光三原色から構成される色の表現方法で、コンピューターのディスプレイなどで用いられる。

スマートフォンやタブレット用アプリで、色覚シミュレーションを  
してみましょう。

【参考】色のシミュレータ: 浅田一憲氏(医学博士・メディアデザイン学博士)が  
開発した、iPhone や Android 端末で操作する無償ソフト。内蔵カメラからの  
映像をリアルタイムで変換し、それぞれの色覚タイプではどのように色が見える  
のか、シミュレーションを行うことができる。

〔注: 色弱者の見え方をシミュレーションするもので、白内障の方の見え方をシミュレーション  
するものではない。〕

色分けに意味がある場合や、色と文字が重なる場合などには、色の使い方によって伝えたい情報が伝わりにくくなることもあるため、配慮が必要となります。

〔※色に意味を持たせていないデザインでは、必ずしもカラーユニバーサルデザインに配慮する必要はありませんし、「使ってはいけない色」というものがあるわけでもありません。〕

## 色の工夫

### ●文字に色を付けるときは、背景色との組合せに配慮する

- ・背景色と文字色には、はっきりとした明度差(コントラスト)をつける。
- ・背景が色付きの場合は、暗い色の背景には明るい色の文字、明るい色の背景には暗い色の文字を使用する。

### ●色を組み合わせるときは、明度や彩度の差を利用する

- ・色弱者は、色相の見分けが苦手な分、明度や彩度の差には敏感であるため、同じ色名の色でも、明度や彩度の差で分かりやすさが変わる。
- ・彩度の低い色同士の組合せは混同しやすいため避け、彩度の高い色と彩度の低い色を対比させる。



### P型（色弱者の感じ方）



### ポイント：背景と文字のコントラストを強くする

- 暗い色の背景には明るい色の文字、明るい色の背景には暗い色の文字

# 色による配慮以外の工夫

## ●強調する

- ・ 強調したい文字は、色弱者が識別しやすい色（赤は少し黄味の強い朱）に変え、太い文字にする・下線を入れるなど、ほかの文字と形を変える。
- ・ 高齢者には色文字は黒い文字に比べ見づらくなるため、淡い色文字は避ける。
- ・ 面積の広い方に色をつけるという工夫をすると見分けやすくなる。

**【改善前】**

C型(一般色覚者)の感じ方  
 強調したい情報は、色だけでなく、  
**色情報以外の情報**でも区別できるようにします。 ▼シミュレーション

P型(色弱者)の感じ方  
 強調したい情報は、色だけでなく、  
 色情報以外の情報でも区別できるようにします。

**【改善後】**

強調したい情報は、色だけでなく、  
**色情報以外の情報**でも区別できるようにします。 ▼シミュレーション

強調したい情報は、色だけでなく、  
**色情報以外の情報**でも区別できるようにします。

## ●ハッチング(地模様)を加える

図やグラフなどでは、色塗りだけで区別せず、ハッチング(地模様)等を併用するとより判別しやすくなる。(ハッチングは使いすぎると見づらくなることもあるので注意。)

**【改善前】**

C型(一般色覚者)の感じ方

▼シミュレーション

P型(色弱者)の感じ方

**【改善後】**

▼シミュレーション

## ●縁取りを加える

- ・やむを得ず見分けにくい色が重なってしまった場合には、縁取りを加えることで分かりやすくなる。
- ・写真やイラストなどの引き出し線に縁取りを加える。



- ① 起動ボタンを押す
- ② ノズルをもってホースを延長し、ノズルをしっかりともち、協力者に「放水はじめ」のかけごえをします。
- ③ 協力者がはバルブを開けます

## ●色名を加える

- ・申請書や伝票などの印刷物を色だけで分ける場合は、印刷物の分かりやすい箇所に色名の文字表示を加えておくといよい。
- ・例えば、「ピンクの用紙に記入してください」と言われた場合でも、色名が書いてあれば分かる。

録証明交付申請書

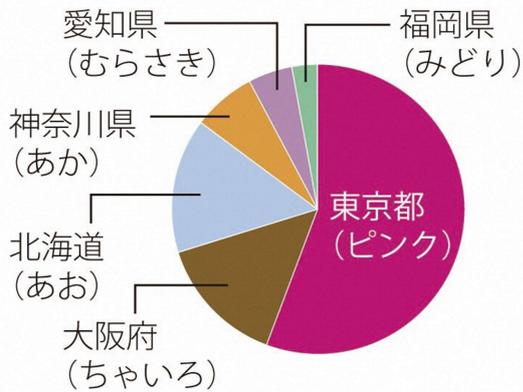
	年 月 日
	生 年 月 日
	明・大・昭・平
	年 月 日

ピンク

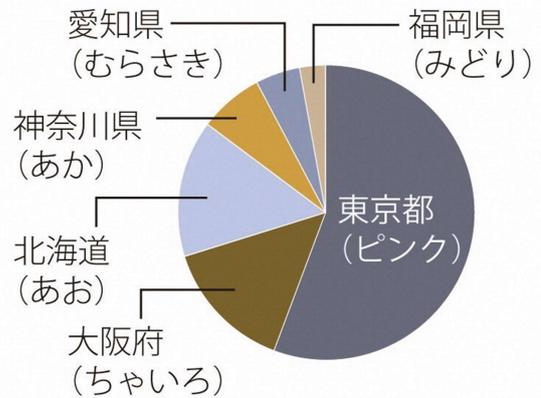


●様々な工夫を組み合わせる

円グラフ



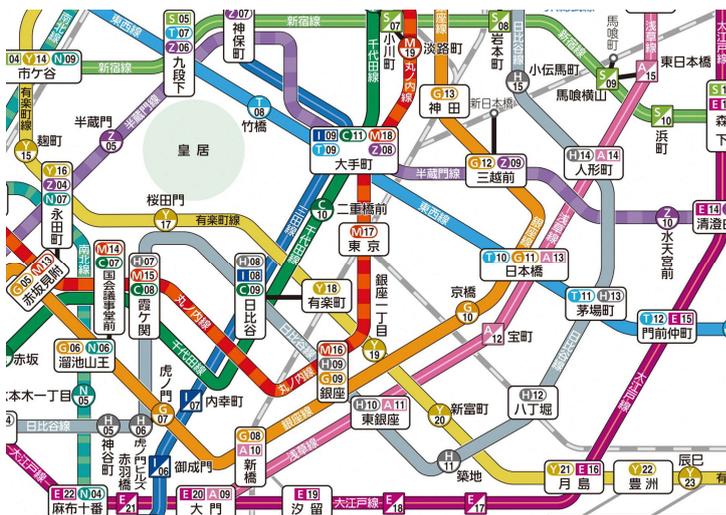
C型(一般)の見え方



D型の見え方の例

- 高齢者と色弱者のどちらにも識別しやすい配色にする。
- 色弱者が識別しやすい色を交互に配色して、明度差をつける。
- 色と色の境に境界線(セパレーションカラー)を入れる。地色との明度差がない場合には、その境にも境界線を入れる。
- 凡例表示を避け、直接記載する。
- 一般の人とのコミュニケーションが取りやすいように、色名を入れる。

路線図



- 路線を太くし、色を分かりやすくする。
- 都営線の路線中央に線を加え、東京メトロと都営線を見分けやすくし、駅表示の形を変え(○と□)、路線記号を入れる。
- 路線図の各路線に路線名を入れる。
- 凡例表示に色名を入れる。

都営線		東京メトロ	
路線記号	ローズ(いびん)	オレンジ	ゴールド
駅番号	浅草線 ASAKUSA Line	銀座線 GINZA Line	有楽町線 YURAKUCHO Line
	ブルー(あか)	レッド(あか)	ブラウン(あか)
	三田線 MITA Line	丸ノ内線 MARUNOUCHI Line	副都心線 FUJUKOSHIN Line
	リーフ(あか)	シルバー	パール(あか)
	新宿線 SHINJUKU Line	日比谷線 HIBIYA Line	半蔵門線 HANZOMON Line
	ルビー(あか)	スカイ(あか)	エメラルド(あか)
	大江戸線 ODD Line	東西線 TOZAI Line	南北線 NAMBOKU Line
	日暮里・舎人ライナー Nippori-Toneri Liner	グリーン(あか)	
		千代田線 CHiyODA Line	

### 3 文字の大きさや形、レイアウトによる読みやすさの工夫

日常で最も多い情報は「文字」です。大きさだけでなく形(フォント)や並べ方(文章構成)によっても読みやすさが変わります。

#### 文字の大きさ

適切な文字の大きさは、対象となる読者の年齢層、印刷状態、印刷物の種類、読書環境(特に照度)など複数の要素が関係します。下記を目安として、内容に合わせた適切な文字サイズを使いましょう。(文章組に大きすぎる文字を使用すると、読みにくくなります。)

用紙サイズ	ポイント
A4	10.5~12
B2以上(ポスター)	22以上
ラベル等の小さな説明書き	8以上

#### 読みやすい行間値の設定

- 文章を読みやすくするためには、適切な行間を確保することが重要です。  
例) 1行20字詰め→文字サイズの1/2程度、40字詰め→文字サイズの1/1程度が目安。
- 文字の大きさが同じでも行長が長くなるにつれて行間を広げることが必要です。

#### 文字の形(フォント(書体))

- 「読みやすさ」と「見やすさ」でフォントを使い分けることが必要です。
- 明朝体は読みやすく、ゴシック体は見やすいフォントです。長文は明朝体、タイトルはゴシック体など、コンテンツの内容に応じて伝わる印象を考えて適切に使い分けることが大切です。
- 文字サイズが9ポイント以下になる場合は、老眼でも読みやすいUDフォントが有効です。

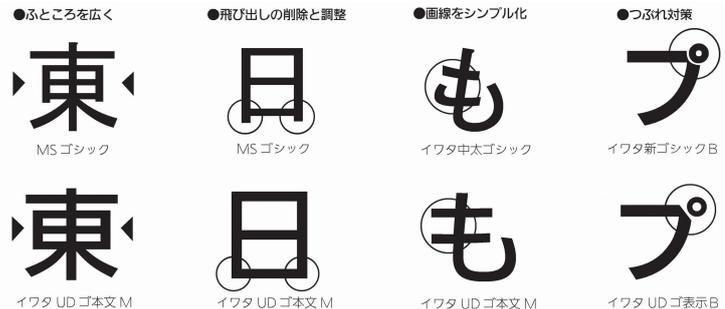
《事例》老眼や白内障による見えにくさの例

原形	老眼	白内障	
音量	音量	音量	⇒ つぶれる： 近視・遠視ユーザーだと見えにくい
音量	音量	音量	
音量	音量	音量	⇒ 線がとぶ： 白内障・弱視ユーザーだと見えにくい
音量	音量	音量	
S38	S38	S38	⇒ シルエットが同じ文字は間違えやすい
OCG	OCG	OCG	

## 《UDフォント》

UDフォントは加齢による老眼や白内障、弱視などでも見やすい書体として開発されました。文字デザイン上の大きな特徴は以下のとおりです。

- ①文字を大きくデザインし、同じ文字サイズでも大きく見える。
- ②3と5やブとプなど誤認しやすい文字の違いを分かりやすくする。
- ③明朝体は横線を太め、白内障のチラツキを軽減する。



## 強調表現

- 太字や大きな文字、アンダーラインなどを使い、メリハリをつけましょう。  
(注)12ポイント以下の文字を太字にすると文字がつぶれる場合があるので注意が必要です。
- 黒字に白抜き文字など、文字の背景を工夫することも効果的です。
- 斜体や影付文字は読みづらくなります。また、色文字にする場合は、文字が読みにくくなることがあるので、太めの書体にするなどの注意が必要です。

## 文章構成による配慮

### <レイアウト・余白>

- 行間や字間が極端に広いものや狭いものは読みにくく、一般的に一行の長さ(行長)が長いものほど行間が広い方が見やすくなります。
- 行長が長すぎると読みにくくなりますので、注意しましょう。
- 上下左右に余白を十分にとり、情報の詰めすぎに注意しましょう。

### <絵・イラスト・写真>

- 言葉での説明より、図や写真を用いた方が分かりやすいものもあります。
- 絵や写真の上に文字を重ねると読みにくくなるので、用いる場合は注意しましょう。
- イラストを用いる場合、固定概念にとらわれた表現をしないようにしましょう。

### <ふりがな・外国語表記・専門用語>

- 難しい漢字や表現は、できるだけ使わないようにしましょう。
- 難しい人名や地名、固有名詞の漢字を使う場合には、ふりがなをつけましょう。

### <表・枠・グラフ>

- 表、枠、グラフを効果的に使用することで見やすくなる場合があります。
- 申請書等に表や枠を用いる場合は、書き込みやすい幅、スペースを確保しましょう。多くの場合、老眼が進むと、小さなスペースでは文字が書きにくくなります。
- グラフは種類により見やすさが変わります。一般的に線グラフより棒グラフや円グラフの方が見やすくなります。

# 参考1 カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ver.4

無断修正・転載はご遠慮ください。PDF版の画面表示やプリントでは正確な色は再現できませんのでご注意ください。

概要版

2018年4月 改定  
※無断修正・転載禁止

## カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ver.4

多様な色覚に配慮し、色で情報を伝えるためのカラーパレットです。  
塗装・印刷・画面表示の用途別にご活用ください。

色名	日塗工色票番号 (参考マンセル値)	C,M,Y,K値 R,G,B値	塗装用：日塗工色票番号／参考マンセル値 印刷用：CMYK値(4色プロセスカラー印刷、Japan Color準拠) 画面用：RGB値(sRGB準拠ディスプレイ)
			※Ver.3から数値を一部変更しました。

### アクセントカラー

サイン・グラフなど小面積を  
目立たせる高彩度色

赤	J08-50V (8.75R 5/12)	0,75,90,0 255,75,0
黄色	J27-85V (7.5Y 8.5/12)	0,0,100,0 255,241,0
緑	J46-60T (6.25G 6/10)	75,0,65,0 3,175,122
青	J72-40T (2.5PB 4/10)	100,45,0,0 0,90,255
空色	J69-70P (10B 7/8)	55,0,0,0 77,196,255
ピンク	J02-70T (2.5R 7/10)	0,55,35,0 255,128,130
オレンジ	J15-65X (5YR 6.5/14)	0,45,100,0 246,170,0
紫	J89-40T (10P 4/10)	30,95,0,0 153,0,153
茶色	J09-30H (10R 3/4)	55,90,100,0 128,64,0

代替色：塗装用のみ

代替黄	J27-90P (7.5Y 9/8)
-----	-----------------------

代替緑	J45-60L (5G 6/6)
-----	---------------------

アクセントカラーが鮮やかすぎる場合に  
使えるやや彩度を落とした色です。

- ※色の組み合わせやサイズによって、見分けやすさは異なります。
- ※多くの色数を用意したため、比較の見分けにくい組み合わせも一部含まれます。
- ※色の感じ方の個人差や照明条件によって、見分けやすさには差が生じます。
- ※本配色セットの色とそれ以外の色を組み合わせる場合は、別途見分けやすさの検証が必要になります。
- ※本配色セットは、今後ユーザーからのご意見を参考に変更する可能性があります。

### ベースカラー

案内図・地図など広い面積の  
塗り分けに用いる低・中彩度色

明るいピンク	J05-80L (5R 8/6)	0,25,15,0 255,202,191
クリーム	J25-90H (5Y 9/4)	0,0,40,0 255,255,128
明るい黄緑	J32-80P (2.5GY 8/8)	25,0,80,0 216,242,85
明るい空色	J69-80H (10B 8/4)	30,0,0,0 191,228,255
ベージュ	J19-75L (10YR 7.5/6)	0,25,45,0 255,202,128
明るい緑	J42-70H (2.5G 7/4)	45,0,45,0 119,217,168
明るい紫	J82-70H (2.5P 7/4)	25,30,0,0 201,172,230

### 無彩色

白	JN-93 (N 9.3)	0,0,0,0 255,255,255
明るいグレー	J75-80B (5PB 8/1)	15,10,10,0 200,200,203
グレー	J75-50C (5PB 5/1.5)	18,10,0,55 132,145,158
黒	JN-15 (N 1.5)	50,50,50,100 0,0,0

文字や細い線の印刷に用いる黒は、  
版ズレを考慮してC,M,Y,K=0,0,0,100を  
ご指定ください。

### 比較の見分けやすい組み合わせ

アクセントカラー	塗装	印刷	画面
6色 オレンジ 黄色 緑 青 空色 茶色 赤 オレンジ 黄色 緑 青 空色 赤 オレンジ 黄色 緑 紫 空色	○	○	○
5色 赤 黄色 緑 青 空色 オレンジ 黄色 緑 空色 茶色 オレンジ 黄色 青 空色 茶色 黄色 青 ピンク 空色 茶色	○	○	○
4色 赤 黄色 緑 青 空色 赤 緑 青 空色 オレンジ 黄色 紫 空色 オレンジ 緑 紫 空色	○	○	○

ベースカラー	塗装	印刷	画面
4色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 明るい空色 明るいピンク クリーム 明るい空色 明るい紫 ベージュ クリーム 明るい空色 明るい紫 明るいピンク クリーム 明るい空色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑	○	○	○
3色 クリーム 明るい緑 明るい空色 クリーム 明るい緑 明るい黄緑 クリーム ベージュ 明るい空色 クリーム ベージュ 明るい紫	○	○	○

アクセントカラー×ベースカラー	塗装	印刷	画面
6色 オレンジ 黄色 青 茶色 明るい緑 明るい空色 オレンジ 緑 空色 茶色 明るいピンク クリーム オレンジ 緑 茶色 明るいピンク クリーム 明るい紫 オレンジ 青 空色 茶色 明るいピンク クリーム オレンジ 青 茶色 明るいピンク クリーム 明るい空色 オレンジ 青 茶色 クリーム 明るい緑 明るい空色 青 空色 ピンク 茶色 クリーム 明るい黄緑 青 空色 茶色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 赤 緑 空色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 赤 青 空色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 緑 空色 茶色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑	○	○	○

※塗装用、印刷用、画面用は媒体ごとの色再現特性に応じてそれぞれ色合いを  
調整しているため、色調は微妙に異なります。

※上記の色はイメージです。正確な色見本は、塗装用は日本塗料工業会発行のJPMA  
塗料用標準色(2017年J版)、印刷用は『カラーユニバーサルデザイン推奨配色  
セットガイドブック(第2版)』の冊子をご覧ください。

※CMYK値は標準的なコート紙でのJapan Color 2011準拠のオフセット印刷、RGB値は  
sRGB規格でキャリブレーションした液晶ディスプレイでの表示色を基準に値を設  
定しています。それ以外の紙質・印刷条件やキャリブレーションされていない表示機  
器では、大きく色が異なる場合がありますのでご注意ください。

本配色セットは、カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会(※)が共同で研究・開発しました。 ※東京大学 伊藤啓／一般社団法人日本塗料工業会(JPMA)／DIC株式会社・DICグラフィックス株式会社・DICカラーデザイン株式会社／特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)／石川県工業試験場 前川満良 詳細や使用方法をまとめたガイドブックを発行しています。PDF版ダウンロードや最新情報はホームページをご覧ください。http://www.cudo.jp/colorset/

## 特 長

### ① 様々な色覚の人に見分けやすいこと

一般的な色覚の人だけでなく、色の感じ方が異なる色弱やロービジョンの人にも違いが見分けやすいように色を選びました。赤と緑、ピンクと空色など、色弱やロービジョンの人には見分けにくいが一般に使用されることが多い組み合わせを、なるべく見分けやすくするように色あいを微調整しています。

### ② 色名を想起しやすいこと

赤やピンクなどの「色名」を使ってコミュニケーションできるように、日常的に使われる色名で表現しやすい色を選びました。

### ③ 塗装・印刷・画面でそれぞれ再現可能で、かつ同じような色に感じられること

塗装や印刷、デジタル機器の画面では、再現可能な色の範囲が異なります。本配色セットの色は、それぞれの媒体で実際に再現可能な範囲から選定しました。また、同じ案内やサインを異なる媒体で表示しても同じような色に感じられるように微調整しました。

### ④ 実用的で分かりやすい方法で色を指定できること

デザインの現場で、塗装・印刷・画面の色指定に一般的に使われている方法で数値を指定しました。

#### ✖ 見分けにくい組み合わせ

アクセントカラー	塗装	印刷	画面	無彩色×アクセントカラー・ベースカラー	塗装	印刷	画面
紫	茶色	×	×	白	クリーム	×	×
紫	青	×	△	白	代替黄	×	×
ピンク	オレンジ	×	×	白	黄色	△	△
ピンク	緑	△	×	明るいグレー	明るい空色	×	×
赤	オレンジ	△	△	明るいグレー	明るい紫	×	×
赤	紫	△	△	明るいグレー	明るい黄緑	×	△
赤	茶色	△	△	明るいグレー	明るいピンク	△	×
代替緑	ピンク	×	△	明るいグレー	明るい緑	△	△
				明るいグレー	黄色	△	×
				グレー	緑	×	×
				グレー	紫	×	×
				グレー	茶色	×	△
				グレー	青	×	×
				グレー	ピンク	△	△
				グレー	明るい紫	△	△
				グレー	代替緑	△	△
				黒	茶色	×	×
				黒	紫	△	×

ベースカラー	塗装	印刷	画面	同系色濃淡	塗装	印刷	画面
明るいピンク	明るい緑	×	×	赤	ピンク	△	×
明るいピンク	ベージュ	×	△	ピンク	明るいピンク	×	△
明るいピンク	明るい黄緑	△	△	オレンジ	ベージュ	×	×
ベージュ	明るい黄緑	×	△	黄色	クリーム	×	×
ベージュ	明るい緑	×	△	緑	明るい緑	×	×
ベージュ	クリーム	×	×	空色	明るい空色	×	×
明るい紫	明るい緑	×	△	白	明るいグレー	△	△
明るい紫	明るい空色	×	×	黒	グレー	△	△
明るい紫	明るい黄緑	△	△	代替緑	明るい緑	×	×
明るい黄緑	クリーム	△	△	代替黄	クリーム	×	×
明るい黄緑	明るい空色	△	△				

※色弱やロービジョンの人が一般的に間違えやすい色の組み合わせではありません。

△：やや見分けにくい組み合わせ  
 ×：見分けにくい組み合わせ  
 /：塗装用以外は該当なし

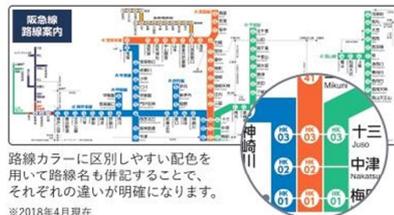
#### 推奨配色セット使用例

##### 塗装例 案内サイン



見分けやすい配色により、情報の違いを直感的に理解でき、スムーズな移動が可能になります。

##### 印刷例 路線案内図 (阪急電鉄株式会社/大平印刷株式会社)



路線カラーに区別しやすい配色を用いて路線名も併記することで、それぞれの違いが明確になります。  
 ※2018年4月現在

##### 画面例 ナースコール (ケアコム株式会社)



区別しやすい色のポップアップ表示により、ナースステーションで情報の違いが瞬時に把握できます。

## <出典>

『カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ガイドブック』第2版

発行年：2018年

発行者：カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会

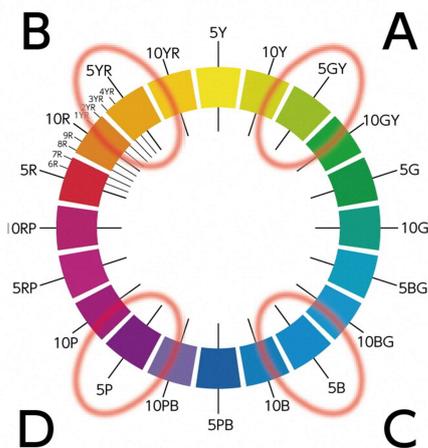
## 参考2 マンセル色相環での高齢者と色弱者の見え方の違い

### 【マンセル色相環】

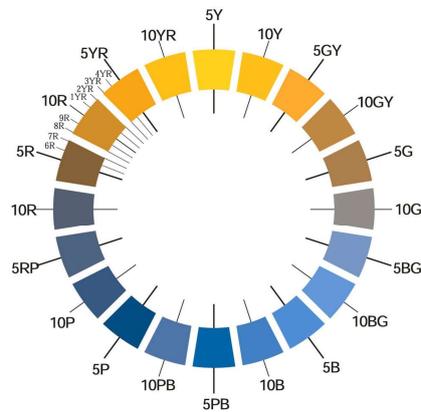
色は、光の波長の違いで、赤・橙・黄・緑・青・紫というように、連続して変化して知覚されます。これを連続的に配列して円環状に表したものです。

このマンセル色相環で向かい合う色（**緑と紫**や**赤と青**など）は反対色といい、一般色覚の人には見分けやすい色です。

- 高齢者は、A～C（緑～青）、B～D（赤～紫）の間が識別しづらい
- 色弱者は、A～B（緑～赤）、C～D（青～紫）の間が識別しづらい



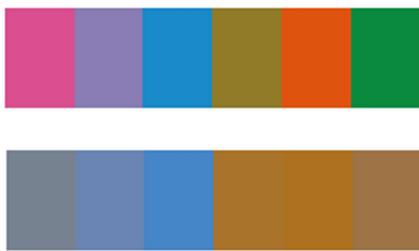
C型(一般)の見え方



D型の見え方の例

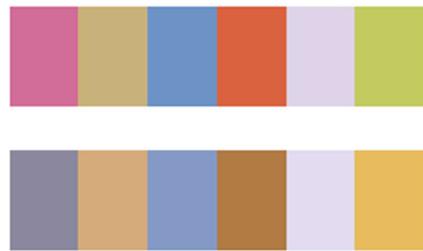
### 高齢者・色弱者がわかりやすい配色

色弱者には見分けづらい配色  
(元画像)



色覚シミュレーション

見分けやすい配色



色覚シミュレーション

**ポイント**：AとD付近の**緑と紫**や、BとC付近の**赤と青**の2色は、高齢者と色弱者の両者に識別しやすい色

- 4色を選定したいときは、**緑と紫**と**赤と青**との明度差をつけることで両者に識別しやすい。
- 5Y(黄)は高齢者が見づらく、10RP(赤紫)と10G(青緑)付近は色弱者の色の感じ方が急激に変化するので注意。



<監修・協力>

●特定非営利活動法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会

特定非営利活動法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会(MUD協会)は、利用する方々の側に立ち、必要とされる情報を分かりやすく伝えることを目的として、2008年(平成20年)1月に設立されました。「デザイン」「文字の使い方」「色の使い方」などに配慮や工夫を加えることで、誰もが使いやすく、見やすいメディアの提供を目指し、メディアのエキスパートとしてより良い社会づくりに貢献することを目指している団体です。

<編集・発行>

●静岡県くらし・環境部 県民生活局 県民生活課 協働推進班

住所：〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

電話：054-221-3153 FAX：054-221-2642 Eメール：shohi@pref.shizuoka.lg.jp

本ガイドブックに掲載している画像や写真、図表等の著作権は、静岡県又は画像等の提供者に帰属しており、無断転載はお断りしております。